

目 次

グラビア	i
まえがき	iv
目 次	vi
1. プロジェクトの概要	1
1.1 目的	1
1.2 研究期間	1
1.3 実施体制	1
1.4 各課題の概要	1
2. 研究機関および研究者リスト	4
3. 研究報告	7
3.1 一元的危機管理対応体制の確立	7
3.1.1 事業概要	7
3.1.2 一元的危機管理対応体制の確立	9
3.1.3 深刻な危機事態下における協調的危機管理体制の確立に関する研究	46
3.1.4 建築の専門家向け被害認定業務システムの構築	65
3.1.5 広域連携システムの体系化	82
3.1.6 まとめ	100
3.2 広域的情報共有と応援体制の確立	
3.2.1 事業概要	102
3.2.2 広域連携体制の構築とその効果の検証	104
3.2.3 情報システム連携の枠組み構築	138
3.2.4 広域連携システムの開発	153
3.2.5 まとめ	166
3.3 相互に関連したライフラインの復旧最適化に関する研究	
3.3.1 事業概要	168
3.3.2 時系列フローによる災害時の被害波及構造の整理	170
3.3.3 災害時におけるライフライン事業者・利用者の対応に関する実態調査	187
3.3.4 ライフライン被害波及モデルと解析法の開発	204
3.3.5 交通インフラ網等の復旧を基点とした広域連携による復旧効率化に関する検討	229
3.3.6 自律分散型拠点構築による地域防災力向上	254
3.3.7 ライフラインの復旧最適化による企業の事業継続性向上に関する検討	269
3.3.8 まとめ	293

3.4 地域・生活再建過程の最適化に関する研究	
3.4.1 事業概要	296
3.4.2 市民・企業・行政が協働する震災復興に関する研究	297
3.4.3 市街地復興政策検討支援システムの構築による市街地復興の最適化	326
3.4.4 生活基盤としてのすまいの復旧・復興戦略に関する研究	344
3.4.5 住民意識の動向と地域の行政対応に関する研究	366
3.4.6 復興シナリオの構築と未来市場予測モデルに基づく復興シナリオ の選定	390
3.4.7 まとめ	410
3.5 社会的防災・減災教育システムの確立	
3.5.1 事業概要	411
3.5.2 防災教育支援のための社会システムの構築	414
3.5.3 災害対応従事者として有すべき業務遂行能力を数量的に評価する 用具の開発	425
3.5.4 対象者の能動的学習を促進するための地域および住民の特性に応じた 防災教育手法の開発	444
3.5.5 シナリオ作成型災害リスクコミュニケーション手法に関する研究開発	464
3.5.6 過去の災害事例等を基にした社会的教育システム研究	481
3.5.7 社会科学的見知に基づく防災教育体系化研究	504
3.5.8 まとめ	521
4. 活動報告	
4.1 八都県市首都直下地震対策研究協議会	523
4.1.1 第1回八都県市首都直下地震対策研究協議会	523
4.1.2 第2回八都県市首都直下地震対策研究協議会	523
4.1.3 第3回八都県市首都直下地震対策研究協議会	523
4.1.4 第4回八都県市首都直下地震対策研究協議会	524
4.2 全体ワークショップ	525
4.2.1 第1回ワークショップ	525
4.2.2 第2回ワークショップ	526
4.3 サブリーダー会議	529
4.3.1 第1回サブリーダー会議	529
4.3.2 第2回サブリーダー会議	529
4.4 対外発表	529
4.4.1 成果の論文発表・口頭発表等	529
4.4.2 特許出願, ソフトウェア開発, 仕様・標準等の策定	534
5. むすび	535